

公開シンポジウム（主催：公益社団法人日本心理学会Depression研究会）

# 「新型うつ」研究の最前線（2） —研究と実践の対話のために—



3月2日 2019年  
（土）13:00-16:00

日本大学文理学部3305教室  
〒156-8550  
東京都世田谷区桜上水3-25-40

## 第1部（13時00分～）研究成果の発表

1. イントロダクション「新型うつ」とは？
2. 研究成果発表
  - ・「新型うつ」が社会問題化した1つの背景—休職中の過ごし方—
  - ・「新型うつ」啓発教育で印象は変わるか—大学授業内での取り組み紹介—
3. 指定討論

参加無料  
要事前申込  
方法は本紙下部に記載

## 第2部（14時40分～）対話セッション

「新型うつ」社員をどう捉えるか—新型うつ社員を戦力とするために—



代表 坂本 真士  
日本大学文理学部教授

編著書  
『臨床に活かす基礎心理学』  
『抑うつの臨床心理学』

登壇者

山川 樹 日本大学文理学部研究員/博士（心理学）  
亀山晶子 日本大学文理学部研究員/博士（心理学）

指定討論者

杉山 崇 神奈川大学人間科学部教授/臨床心理士  
塚原拓馬 実践女子大学生活科学部准教授

▼お申込み・お問い合わせ▼

ご参加希望の方は、下記URLかQRコードから事前登録をお願いします

<https://goo.gl/forms/ZD3nvZhyJe3sJnxo2>

お問い合わせ：sslabsympo@gmail.com

